

金剛小通信1月 DIAMOND

思いやりの心を育む人権教室

昨年のことになってしまいました
たが12月10日（木）3校時、5人の人権擁護委員さんにお越しいただき、5・6年生を対象に、寒い中でしたが窓を開けた体育館で、密を避けて開催していただきました。

内容は、今いちばんの問題と言える「SNSを使うときに気を付けなければならないこと」について、『顔が見えなければ何をしてもいいの?』というタイトルのアニメを視聴して考えました。数人のグループに分かれて討議し、全体の前で発表するという学習でしたが、どのクラスも活発に話し合い、積極的に挙手して発表する姿に、人権擁護委員の皆さんは「金剛小の子供たちは素晴らしいですね!」と大変感心しておられました。『美しい歌声』も、今回は5年生も一緒でしたが、修学旅行に引き続きほめられました。

真に「やさしく・うつくしく・かしこく・たくましく」育つために、学んだことを知識にとどまらせることなく、実際の生活に生かして欲しいと思います。

地域学校保健委員会

これも昨年のことですが、12月11日（金）午後、高植校の体育館に、学校医の桑原庸浩（つねひろ）先生、耳鼻科の相良先生、薬剤師の竹内先生、六中の薬剤師の松崎先生をお招きして開催しました。

本年度は新型コロナウイルス感染防止対策で、保護者の方々はご案内しなかったため、一部役員さんと第六中の先生方をお招きして昼間に開催しました。

両校の養護教諭がそれぞれの学校の健康の状況を報告した後、講演会を実施しました。

講師は、六中の学校医の桑原奥（ふかし）先生でした。「感染症予防～学校でできること～」というタイトルで、インフルエンザと新型コロナについて、たくさんの資料をご準備くださってのお話でした。今取り組んでいる感染予防対策を、「徹底して行う」ことの大切さ、換気をしながら適正な室温と湿度を保つこと、生活習慣に気を付けること、特に、運動・睡眠・食事だけでなく、心のストレスに気を付けること、そして、免疫力を高めることなどを教えていただきました。昭和2年生まれの93歳で元気にしておられる先生のお話には、いっそうの説得力がありました。

家庭でなければ、そして、学校でなければできない感染予防対策をしなければなりません。ご家庭と学校でしっかりと連携しながら取り組んで参りましょう。

第2学期終業式

12月24日（木）が2学期終業式、冬休みは感染予防で移動の自粛等、制限が迫られ親戚とは会えないかもしれないから家族のために貢献してくださいとお願いしました。お子様はきずなを深める活躍をしてくれたでしょうか。

第3学期始業式

令和3年1月7日（水）に始まりました。「1月は行き、2月は逃げ、3月は去る」、3学期はあっという間に過ぎていってしまいますが、年間の学習のまとめをする大切な時期です。体調管理には気を付けてあげてください。「1年の計は元旦にあり」自分の立てた目標に向かって着実に進んでいってほしいと思います。